

評価の流れ



①事業の説明 …5分

- ・実施した事業ごとに説明
- ・各担当部署より説明
- ・どのような事業を行ったか
- ・どの程度効果があったか
- ・今後どのような展開を行うのか



②質疑応答 …10分

③各委員による評価 …3分

- ・各委員が疑問点等を質問
- ・各委員が各自評価を記入
  - 有効か有効でなかったか
  - 必要に応じコメントを記入



④審議会全体評価とりまとめ …2分

- ・各委員が評価内容を挙手で発表
- ・事業ごとに審議会全体での評価を取りまとめ

評価方法は？

**委員用評価シート(事業一覧)**

No.	事業名	評価項目(該当箇所に○)	コメント
1	健(検)診体制の充実と医療費適正化の推進	目標達成に 有効であった ・ 有効とは言えない	
2	安全・安心な学校づくりの推進	目標達成に 有効であった ・ 有効とは言えない	
3	教職員の指導力向上の取組の充実	目標達成に 有効であった ・ 有効とは言えない	
4	地域資源のブランド創出・魅力向上	目標達成に 有効であった ・ 有効とは言えない	
5	総合計画の進行管理	目標達成に 有効であった ・ 有効とは言えない	

**この部分を記載**

## まち・ひと・しごと創生総合戦略とは？



16

## まち・ひと・しごと創生総合戦略とは？①

H26.11「まち・ひと・しごと創生法」  
→自治体の戦略策定を求めるもの

※瑞穂市はH27.10策定(H28.3改訂、H29.9改訂)  
戦略の期間は、平成27年度～令和元年度

- ・ 人口減少・少子高齢化への対応
- ・ 瑞穂市人口ビジョン(将来展望)  
→2040年(令和22年)に55,000人を確保

◎出生率を高める  
・合計特殊出生率  
2040年までに1.8を実現

◎社会増人口の確保  
・市外からの大学生やファミリー世代の  
定住化を促進

17

# まち・ひと・しごと創生総合戦略とは？②

## 基本目標

- ① 瑞穂市の次代を担う「ひと」を育む
  - 年間出生数
  - 合計特殊出生率
- ② 瑞穂市の特性を活かした「しごと」をつくる
  - 就業人口・労働力人口
  - 事業所数
- ③ 瑞穂市に安心して住み続けられる「まち」をつくる
  - 住みやすさの評価・居留意向
- ④ 瑞穂市の魅力で「交流・にぎわい」を生み出す
  - 交流人口(観光・交流入込客数)
  - 地域ブランド創出件数

18

## 本審議会での具体的な担当事務 (総合戦略編)

### 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の

### 「 KPIの評価と検証 」

- ① H30の実績を評価  
= 国の交付金により実施した事業を評価
- ② 総合戦略の見直し



19